

BUNKASHA COMICS S*girl Selection

愛染マナ

家庭内

レイア

義理の息子と越えた一線



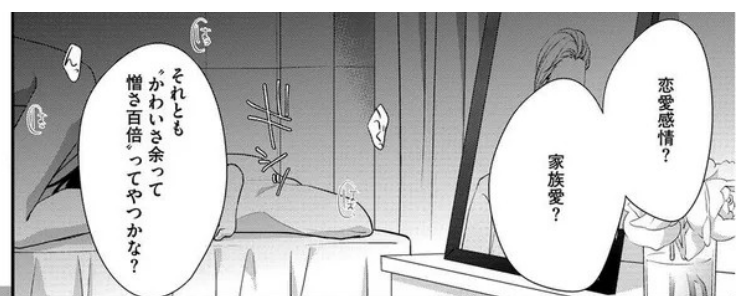
愛染マナ

#1 義息が男に変わった日

家庭内

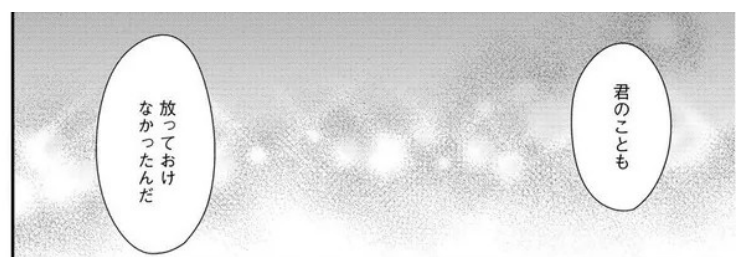
とアイ

義理の息子と越えた一線





















発行所 株式会社ぶんか社
〒102-8405
東京都千代田区一番町29-6
www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。



BUNKASHA COMICS S*girl Selection

愛染マナ

家庭内

レイア

義理の息子と越えた一線

家庭内

愛染マナ

ブレア

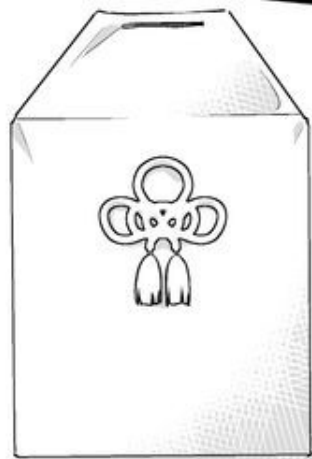
#2 涙の理由

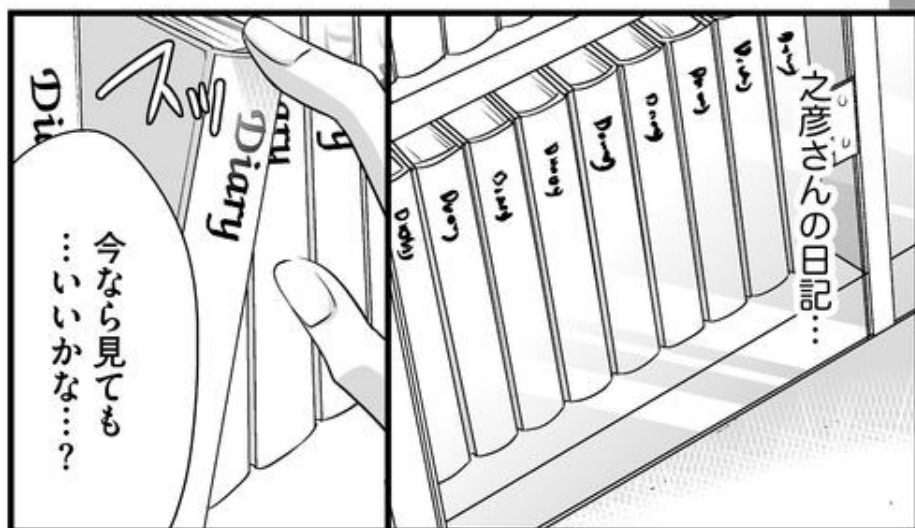
義理の息子と越えた一線

















何があっても
俺を裏切らないって
自信があるなら

コンドーム買って
帰ってきてよ

き…君哉くん…

昨日の続き
しよう

昨日からどう
しちゃったの？

早く行けよっ



じゃあね 母さん



君哉くん…



待っ

もう…

何がなんだか
わからない…

そう…



昨日のことは…
きつと…八つ当たり
のようなもので…



最近の君哉は友達も増えて
随分明るくなったと思う。
少し安心した。

君哉が小学校を卒業した。
綾子がいなくなって6年。

5月4日

君哉と北海道に旅行に行った。
一人で留守番をエセてしまう事になり
家が空の遊びにも連れて行って
やらなかったから、行けて良かった
楽しんでくれたらいい。

あつと言う間だった。
君哉には随分我慢を
させてしまったと思う。

あの子には母親が必要なのかも
知れないと、そう思う反面、
私は未だに心の整理が
付けられないでいる。

君哉、あの日から
泣かなくなっ
たのを知
る父エム

君哉…

私は…

知っているよ

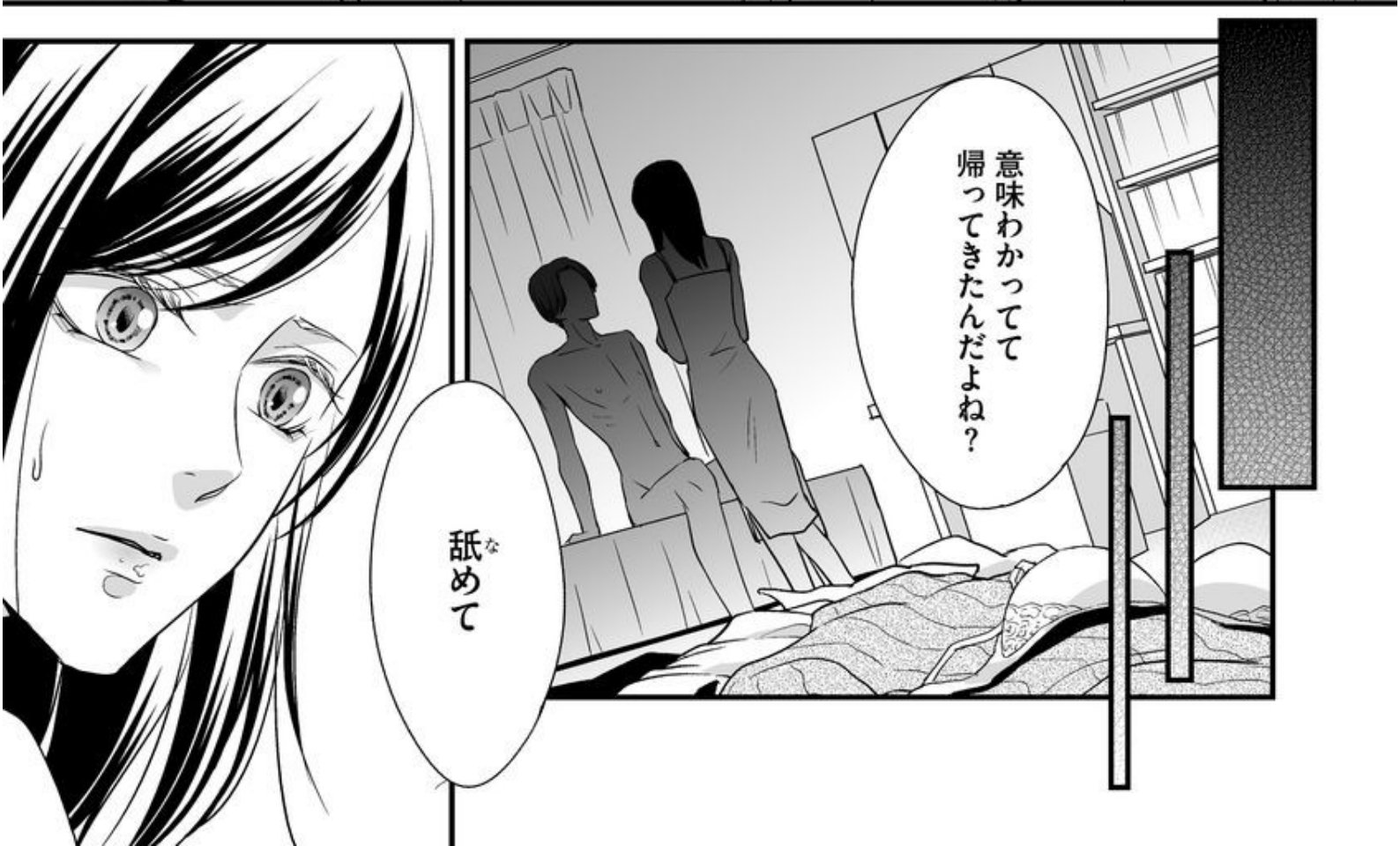
あの日から…おまえが
泣かなくなったのを

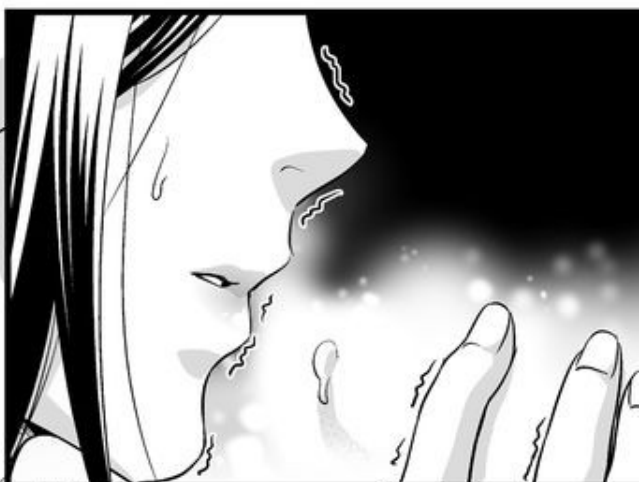




なんで……
帰ってきたの……？













そんな...

あつ

ぬる

はあ

はあ

はあ

はあ

あつ

ああ

あつ

あつ

もっともったいぶってほしかった?

はあ

はあ

はあ

はあ





ひっ

置いてなんて
いけない

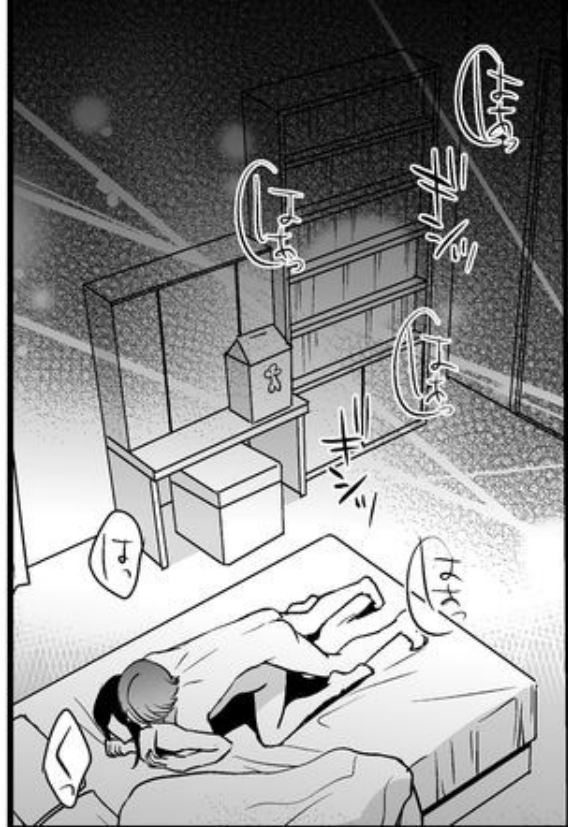


あっっ

あっああっ

あっっ

なみ...だ...?



ありがとう
母さん

戻ってきてくれて

★第3話へつづく★

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。

※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

BUNKASHA COMICS S*girl Selection

愛染マナ

家庭内

レイア

義理の息子と越えた一線

愛染マナ

家庭内

#3
残酷な愛欲

プレイ

義理の息子と越えた一線







嫌いになんて
ならないよ



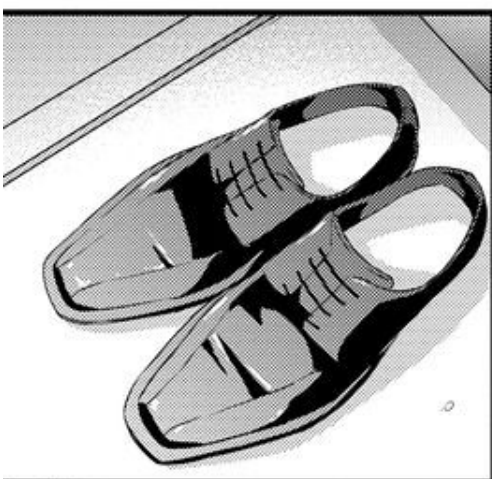
学校
行ってくるね

今日母さんは?
パート?



今週いっぱいお休み
もらっちゃったの
みんな気遣ってくれて

家でひとり
いるほうが
減入っちゃう
のにね…







あの人は
俺にも優しくかった

紅茶で良かった？

はい

敬語じゃなくて
いいよって
いっても：

なかなか
難しいよね

すみません：

ううん
いいの

私も：

5歳の時に
両親が離婚してね

今はもう父親が
どこにいるかも
わからないの

母の葬儀にも
こなかったから

なのにな…バカみたいだけど
…今でも忘れられない



最後に見た
お父さんの後ろ姿

だから君哉くん
の気持ちも

少しは…
わかるつもり

本当は
なんでこんな人
連れてきたんだって

思ったん
じゃない？

私のことお母さんとは
思えないかも
しれないけど

そんなことない





母さんって

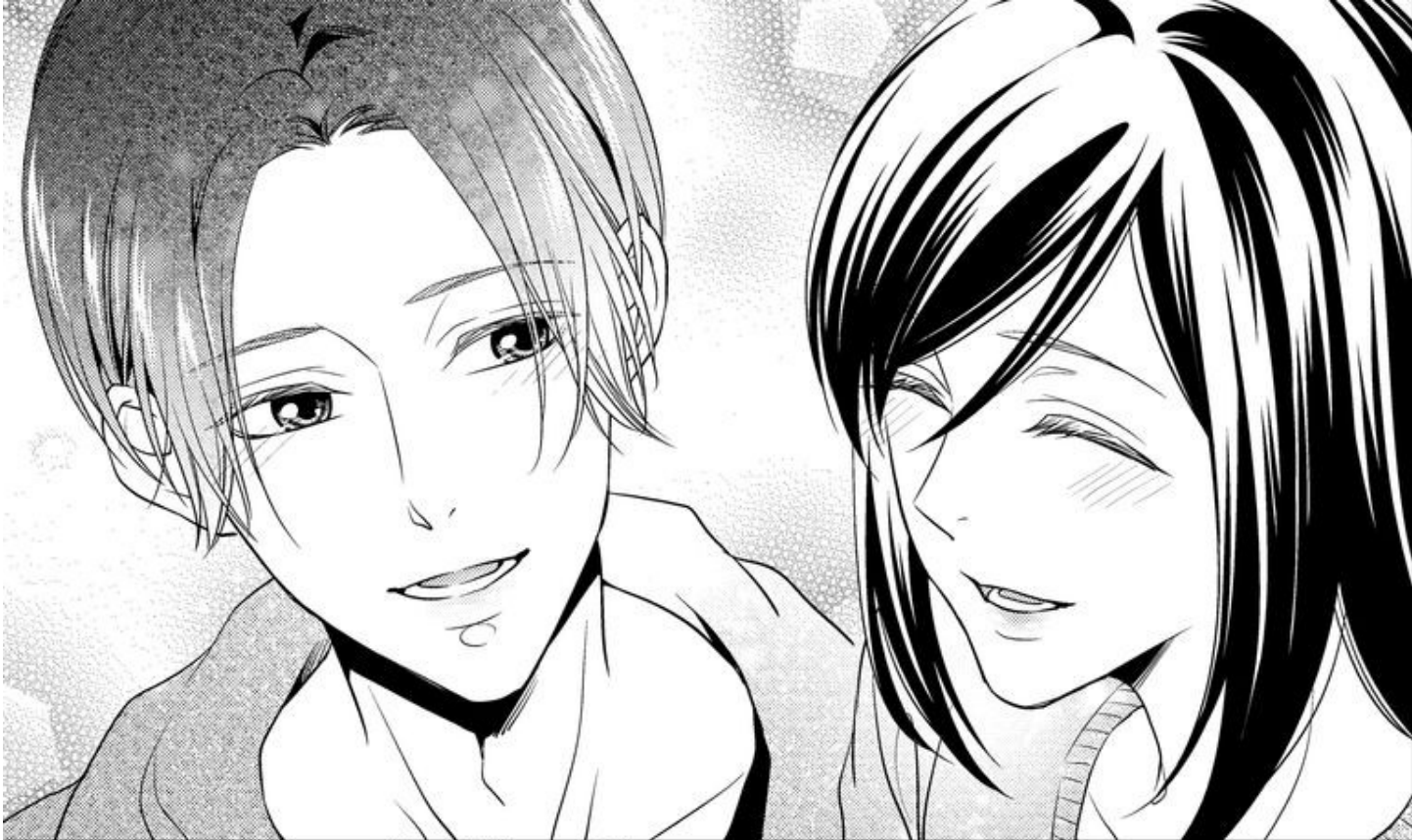


大丈夫

だから…
慣れないけど
今日からこう呼ぶね



ありがとう
よろしくね



俺はあの人の一番じゃない

「本当に之彦さんゆきひこに
そっくりだね…」



それでもやっぱり

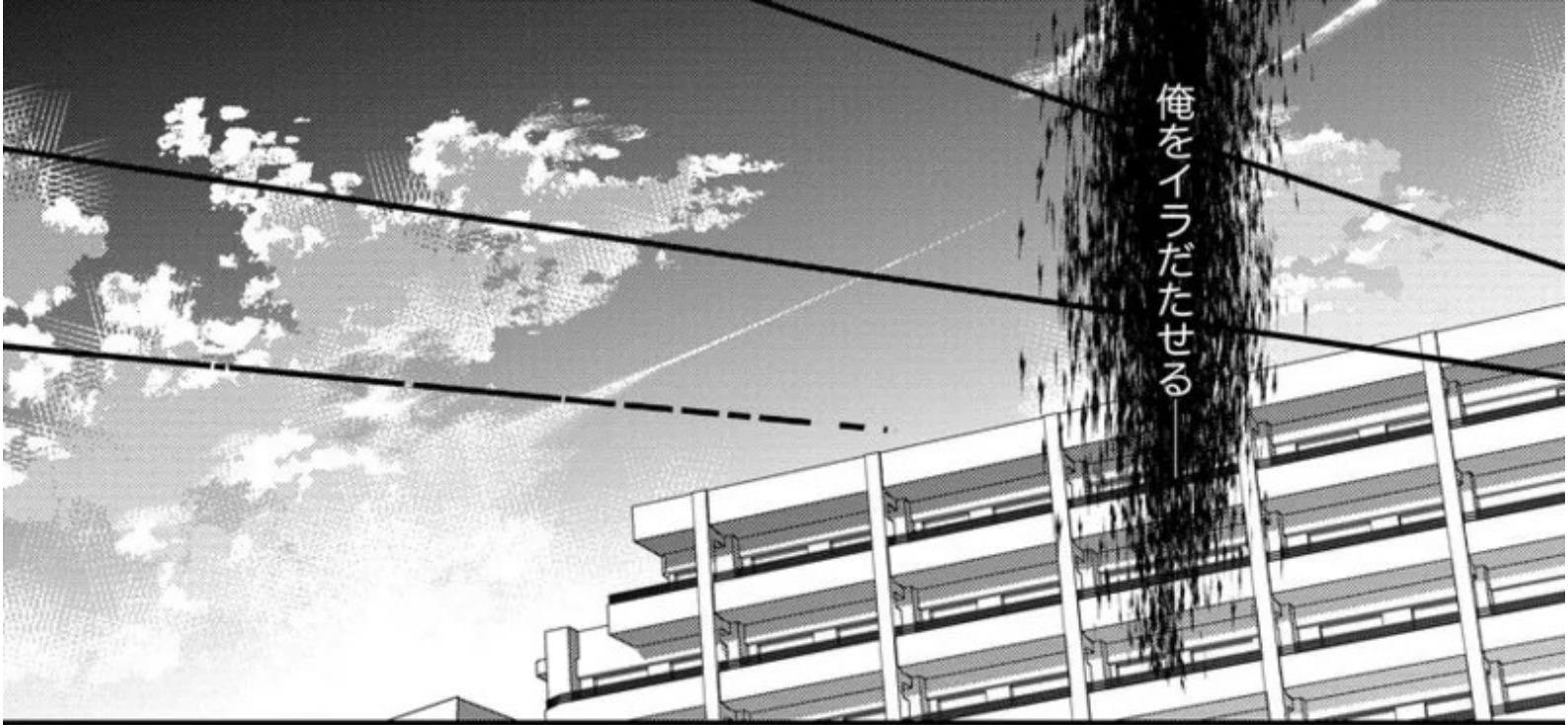
「私は君哉くんを
置いてなんていけない」

母さんの優しさは

ごめんなさい

出てってくれば

諦めだつてついたのに



俺をイラだたせる



ただいま…

しん…



ただいま



母さん!?

いない…の?

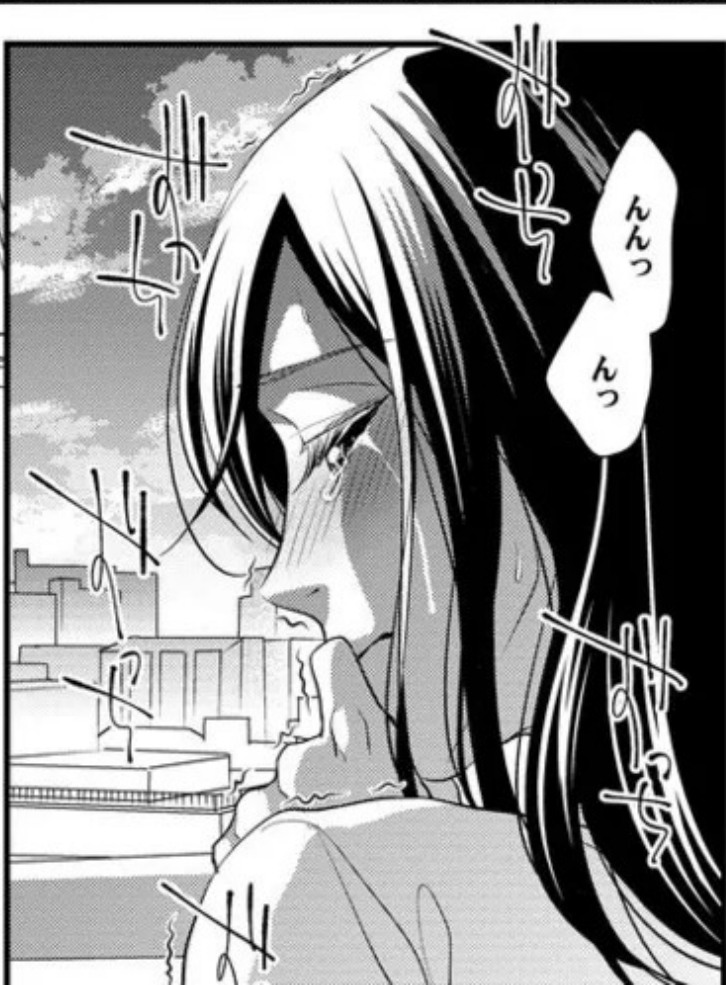






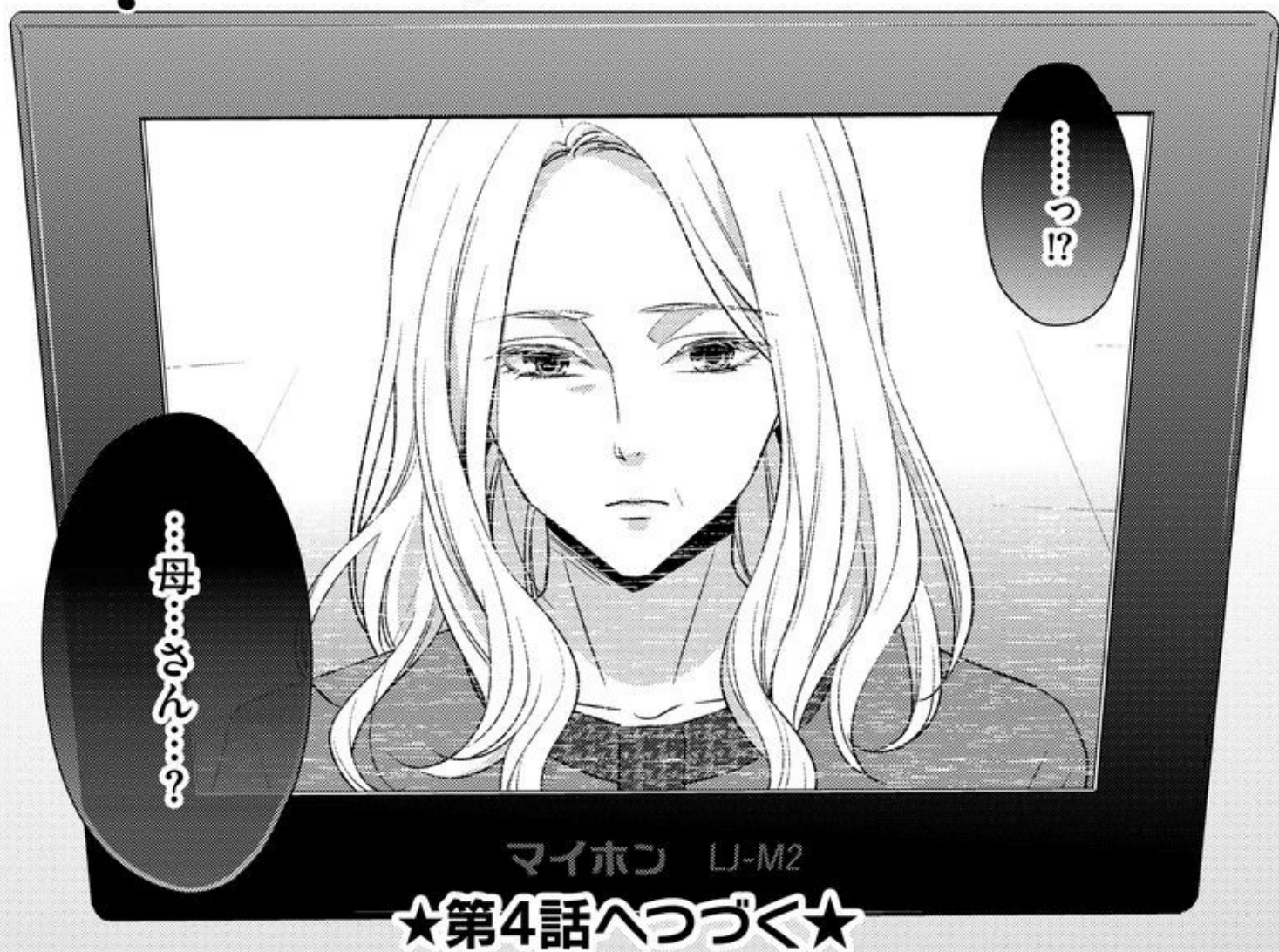












発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

BUNKASHA COMICS S*girl Selection

愛染マナ

家庭内

レイア

義理の息子と越えた一線



愛染マナ

#4 気づいてしまった感情

家庭内 レイ ア

義理の息子と越えた一線

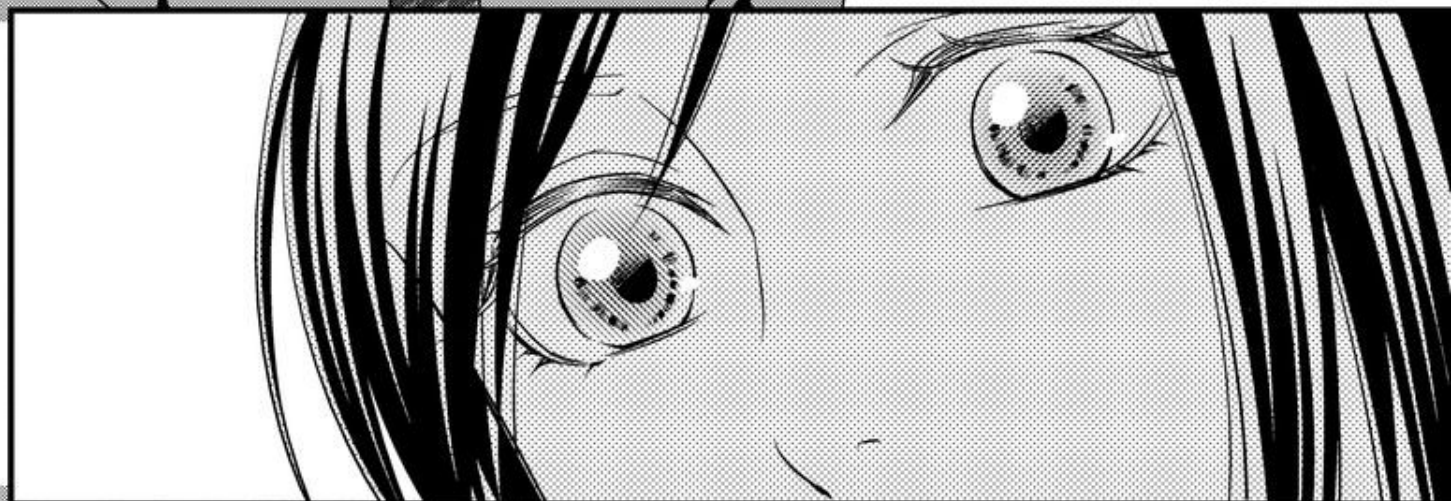






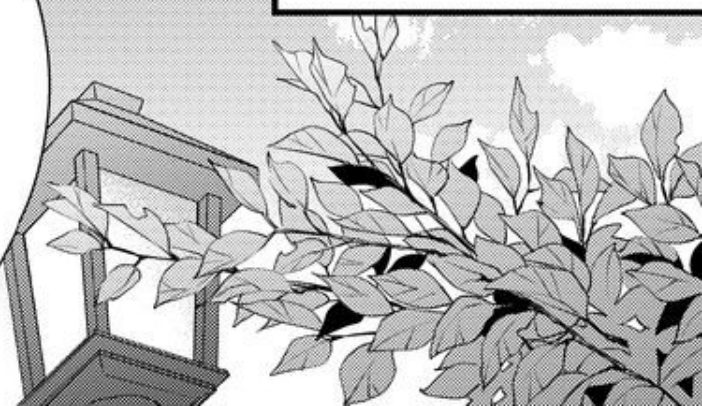






あの人には10年前に
一度連絡をして

その時に離婚を



之彦ったら
黙ってたんですね…
私と会ったこと

母親がほかの男と
駆け落ちしたなんて

君哉に知らせたく
なかったんでしょうね

之彦らしい…
優しいんだか
優しくないんだか…

…それで今日は
どんなご用ですか

君哉のことを
引き取りたくて

えっ

虫のいい話なのは
重々承知です

でも之彦が
死んだって
聞いて私っ

あの子に償いがしたいんですっ
之彦にできなかった分も

急にそんな…





俺本気で言ってるよ

そっだよな
君哉くん！



ただいま

どうだった
面接

ええ
たぶん大丈夫よ

マネージャーも
形式的なものだから
って言ってたし

おかえりなさい

ごめんね

やだ
私だってパートじゃ
正直物足りなかったから
ちようどいいよ

他人のあなたが
背負う必要のないのよ

イヤだ！
思い出しちゃった…

ねえ

何かあった？

必要だったら
俺働くよ？

違うの…
そうじゃなくて…

…会ったの
…君哉くん…

本当のお母さんに

ほっ本当っ？

なっなんて言っってたっ！
あの人何しにきたのっ！？

君哉くんは

あ…

なんだかんだ
お母さんのこと
気になるんだ…

なのに…私…
勝手にあんなこと…

そりゃあ…そうだよな…

母さん

隠さないで
教えてよ



…君哉くんのこと…
引き取りたいって…

再婚されてて…
相手は社長さん
なんですって…

君哉くんのこと
歓迎してくれてる
みたいよ



それで母さんは
なんて言ったの？

私は…その時は
なんとも…



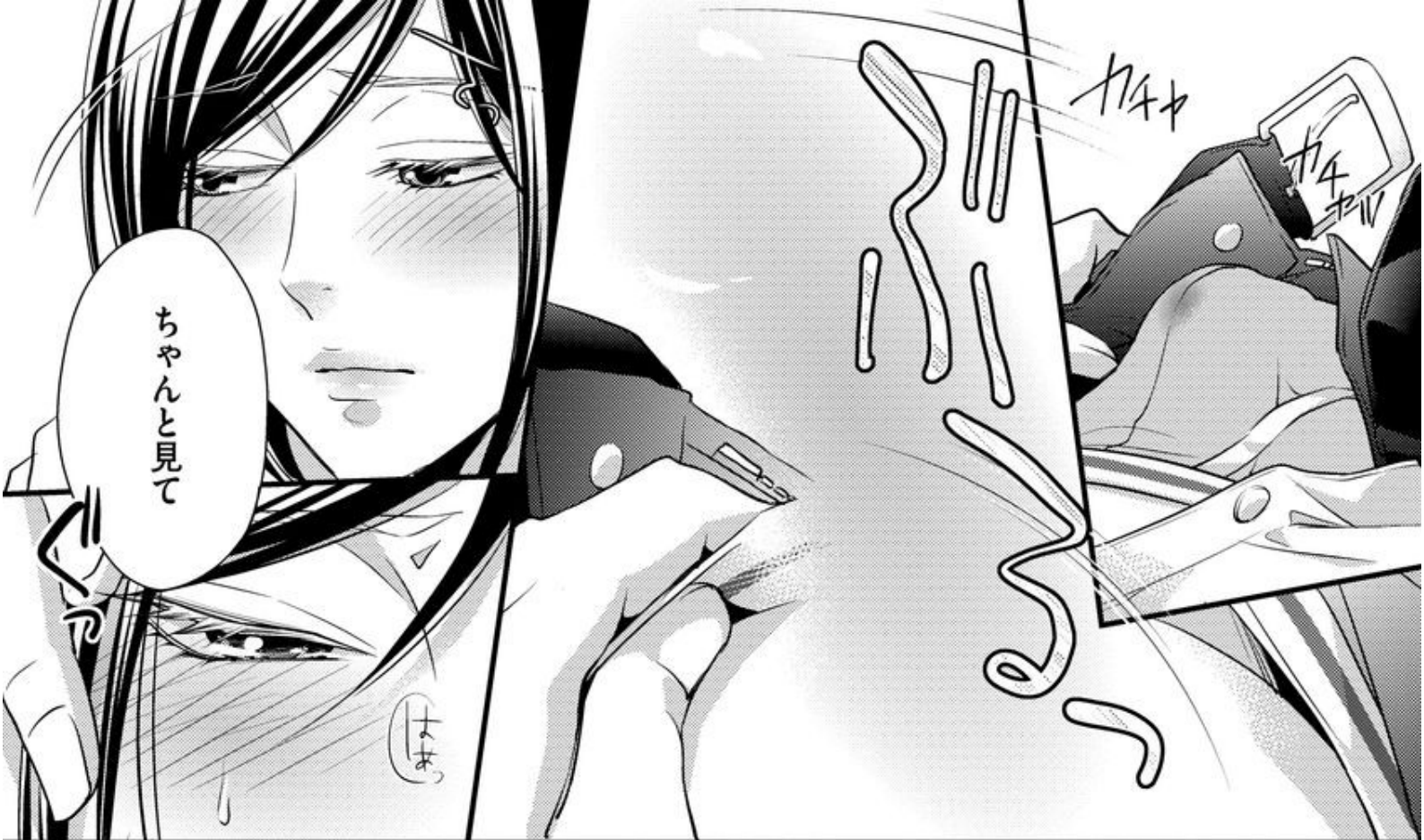
…でも
いいと思うよ

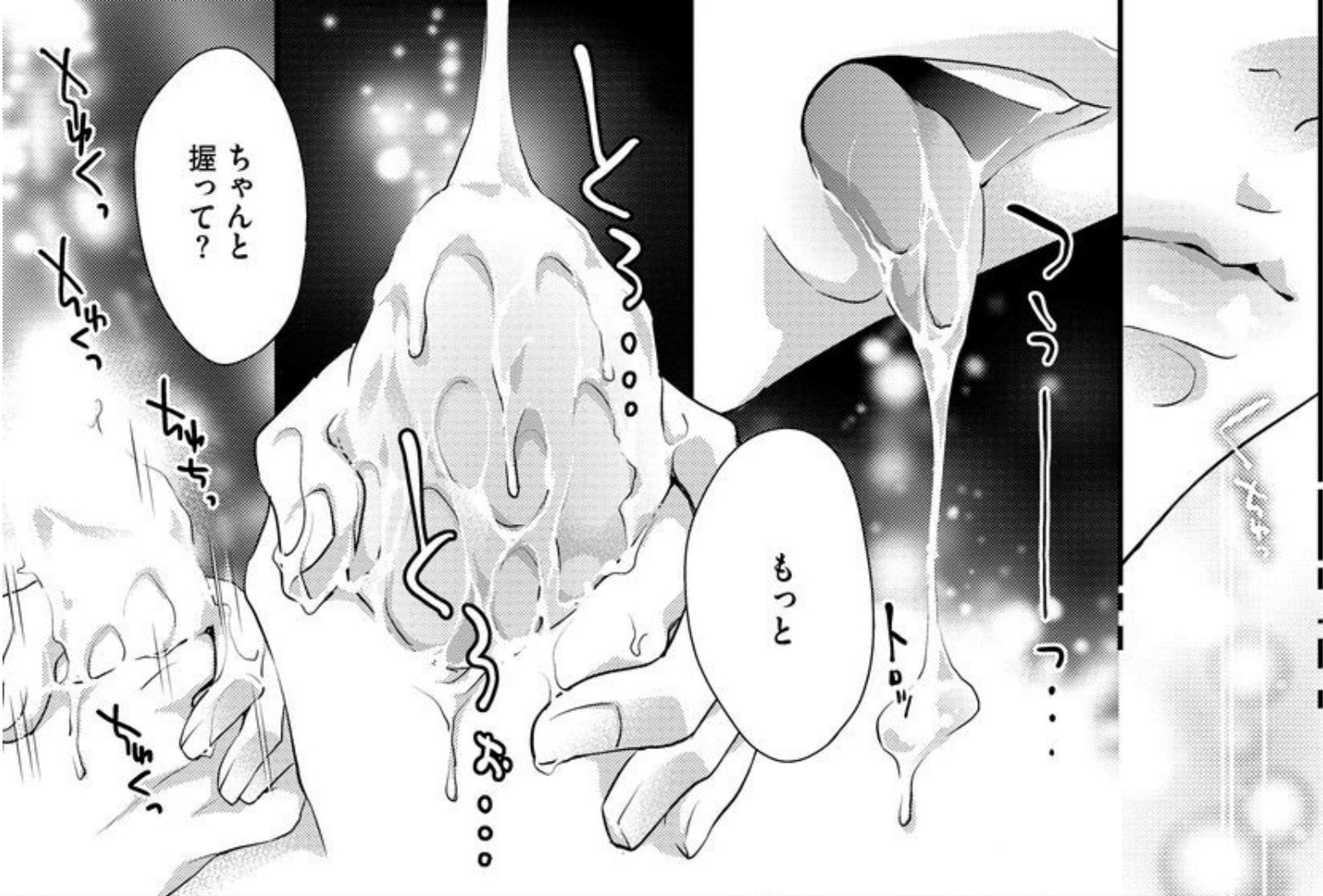


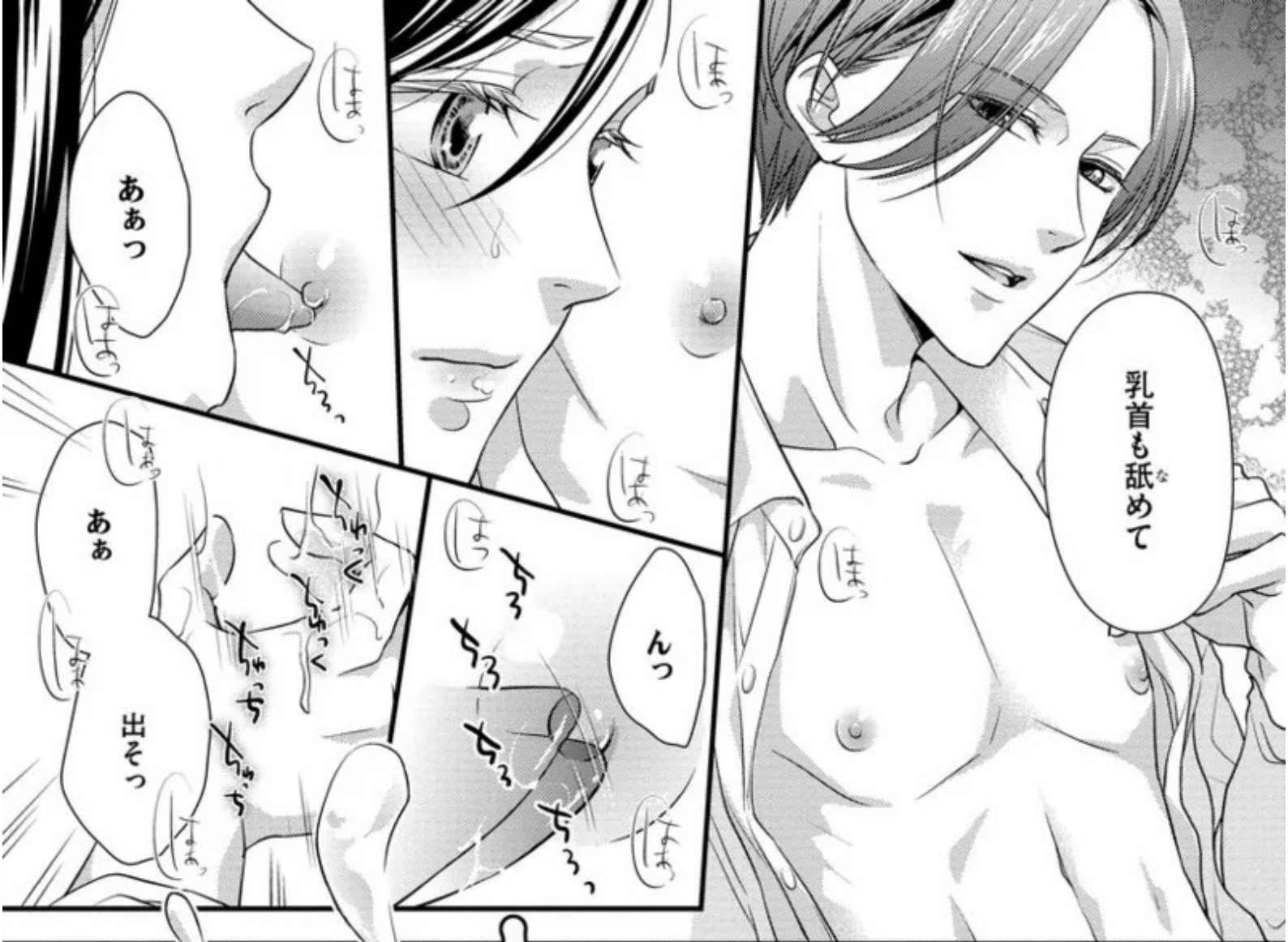
私だってまだ
これからの
人生があるし

…それ本気で言ってるの？











あつダメっ

私は同情とは違う気持ちで

あつ

もうイクの？

あつ

君哉くんと

あつ

うううんっ

一緒にいたいと思ってる

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

BUNKASHA COMICS S*girl Selection

愛染マナ

家庭内

レイア

義理の息子と越えた一線

愛染マナ

家庭内

#5

愛し合うふたり

義理の息子と越えた一線



さつきはいじわる
言ってごめんね

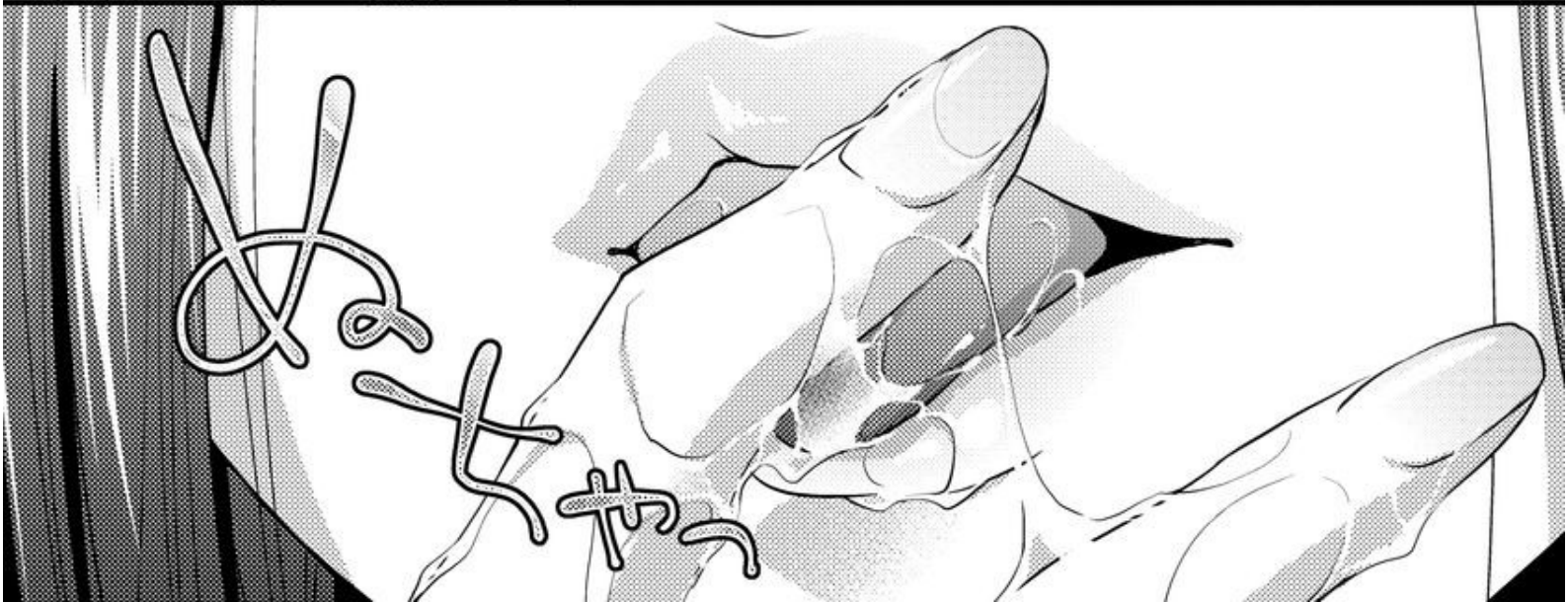


俺はあの人のところ
には行かないよ



君哉くん…

母さんが
何かひどいこと
言われなかったか
心配だったんだ





好きだよ
母さん







なら良かった

私と一緒に



ごめんなさい



ああ…
大きくなって…

あのね

話は聞きました



あなたに会うのは
今日が最後です

君哉くん…

どうして？
あの人に何か
言われたの？

あなた
君哉に何か
よいことつ

やめてください

俺の母親は
紗月さん^{さつき}だけだ

そんな…





……ちゃんと
言えてた？

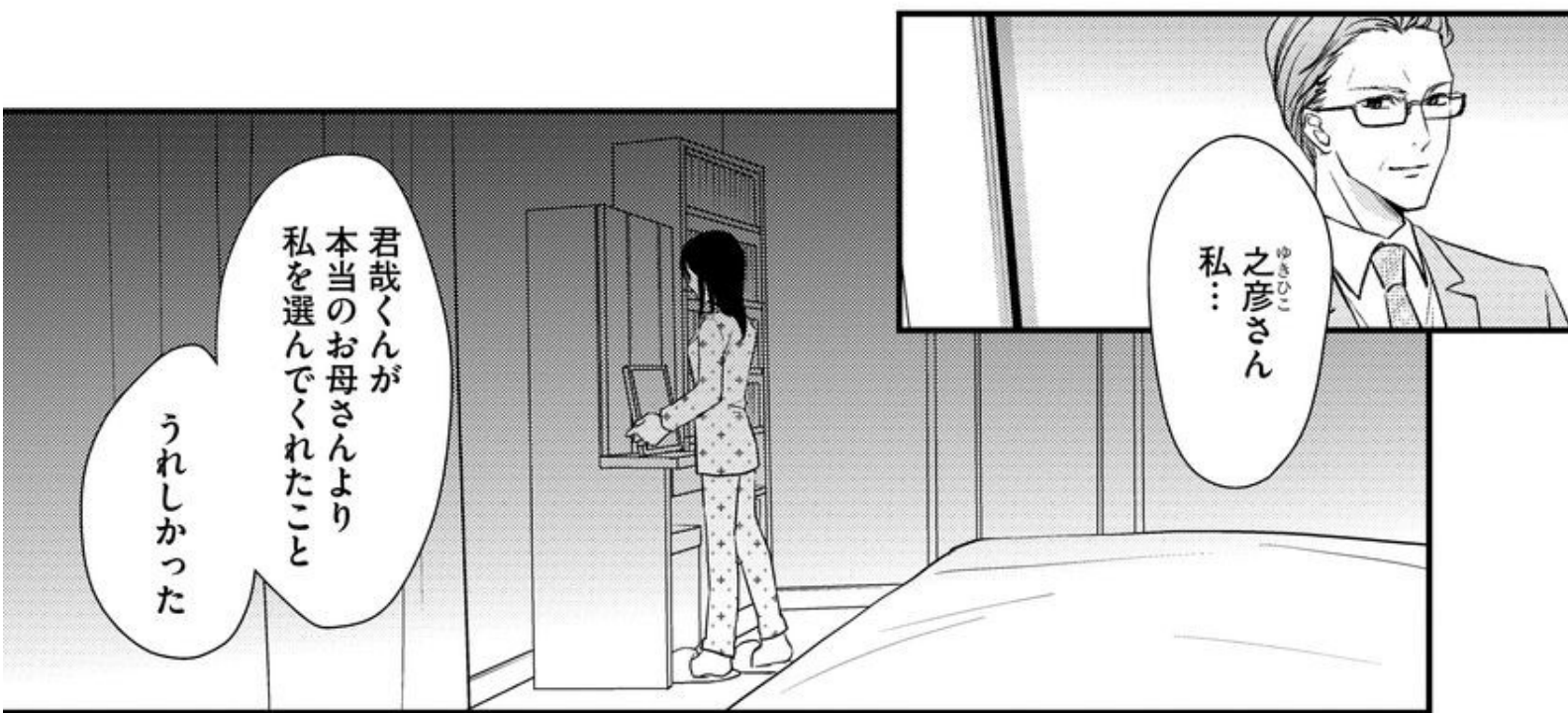


うん

……でも本当に
良かったの？



ずっと一緒に
いようねって
言ったばっかだよ？





納骨の日も決まったし
そろそろ荷物も
整理しなきゃ…



はいでは
よろしくお願
いします



紗月エンへ
いつもありがとう
これからもよろしくお願ひします

之彦さん…



これ…



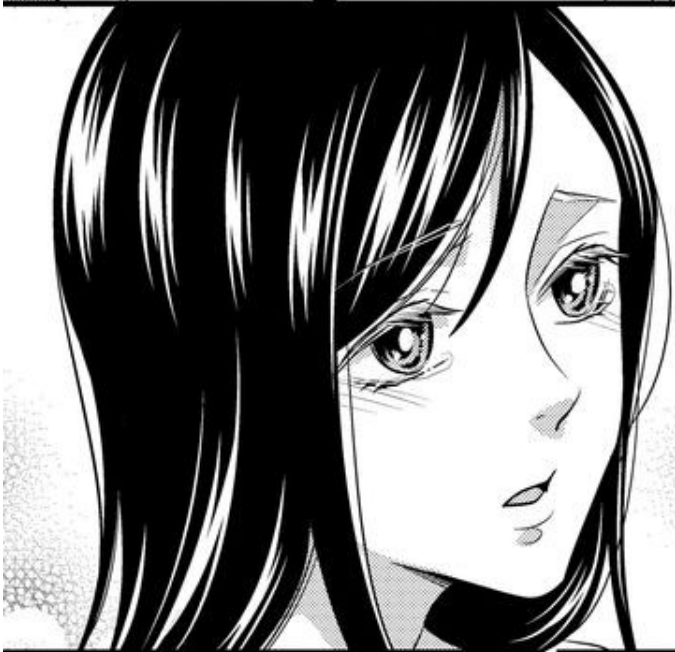
結婚記念日の
プレゼント…



べつこ…



母さん
どうかしたの？

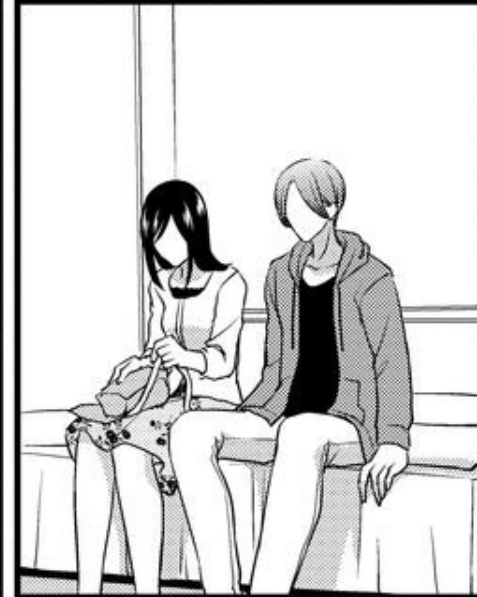
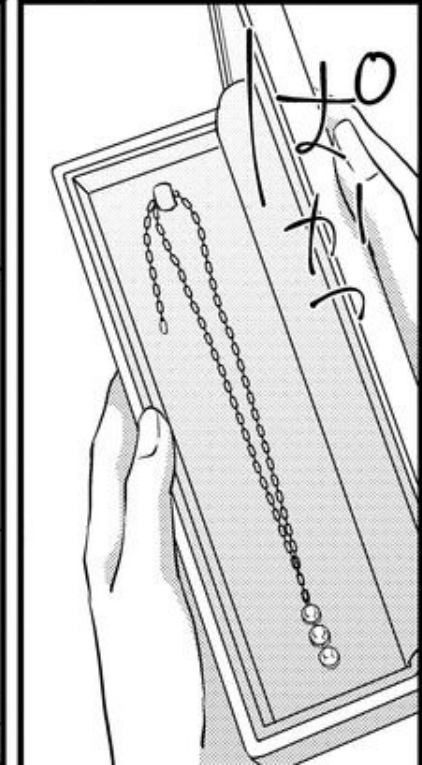


父さん買って
たんだね

開けなよ



貸して







だからこれからは
俺を見てよ



いつも心のどこかで...

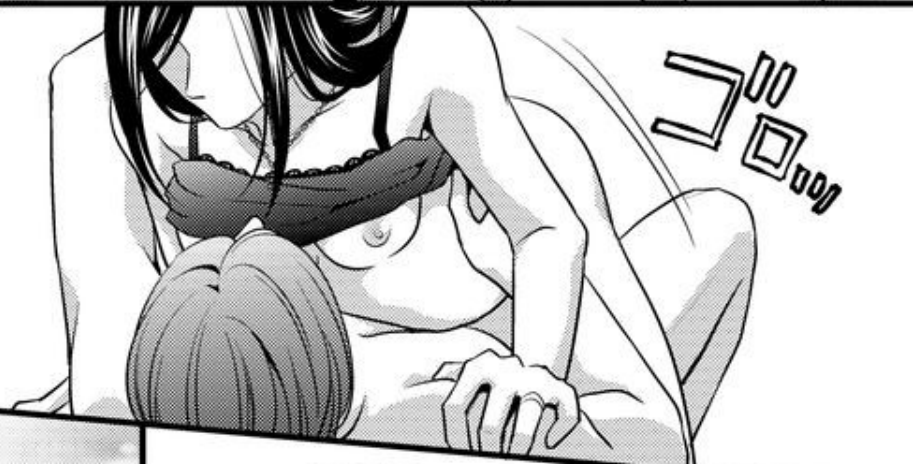
安心して人を
求めている

お父さんっ
お父さんっ

どうして
行っちゃうの?



こんなに強く
求められることに
慣れていなくて



私はうまく

かわすことが
できないんだ



舐めてあげる

来て

でも...



いいから

このすがりつくような
真っすぐな愛を

君哉くんの



最初は
ほっとけなかった

んんっ



んっ









君哉くんも

痛かったよね？
あの時は
ごめんなさい

痕^{あと}もっと
つけてもいい？

うん

あつ

だけど…

—俺の母親は
紗月さんだけだ

はあつ

母さんっ

君哉くんは……

私が「お母さん」だから
好きなんだよね？

★最終話へつづく★

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

eBOOKで
快適読書生活



<http://www.ebookjapan.jp>

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co., Ltd.
<http://www.ebookjapan.jp>

BUNKASHA COMICS S*girl Selection

愛染マナ

家庭内

レイア

義理の息子と越えた一線

愛染マナ

家庭内

#最終話母になった日

レイン アイ

義理の息子と越えた一線



よろしく
お願いいたします

こちらこそ
では
参りましょうか

——俺の母親は紗月^{さつき}さんだけだ



はい



君哉^{きみや}くん

あなたはきつと…

うまく区別が付いて
いないんだよね…？

「好きだよ母さん」



その感情が家族愛なのか

独占欲なのか

ただ孤独が怖いのか

本当に恋愛感情なのか



お母さんに
愛されたかった

あの時の
純粋な気持ち

行き場を
失くしたままで

寂しかったんだよね…?



あなただけは
ずっとずっと



その上突然
お父さんまで失って

その寂しさを



違う…？



私にぶつけるしか

なかったんだよね？



君哉くん



ありがとう
ございました



俺今日まで深く…

考えないようにしてた…



父さん

本当に
死んじゃった
んだね…



父さんが
いなくなれば
いいのにつて

瀬戸家



俺：
母さんが
家に来てから

何回か



思ったこと
あるんだ：







私君哉くんが
好きだよ

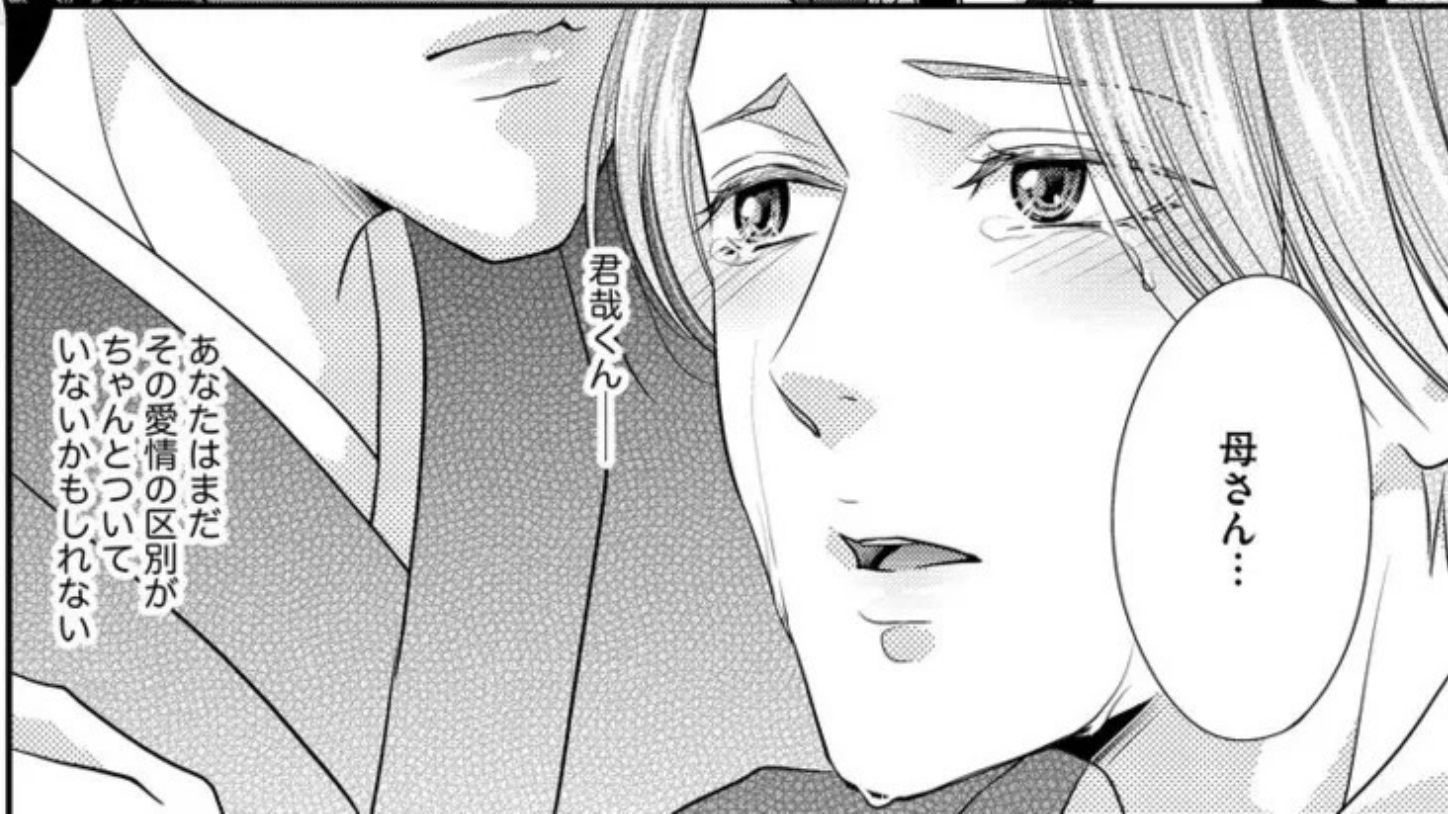
愛してる



母さん…

君哉くん

あなたはまだ
その愛情の区別が
ちゃんとついて
いないかもしれない





恋愛も家族愛も

これから私が



でも大丈夫…

少し早かったけど
ふたりで歩んでいこう



全部教えてあげる



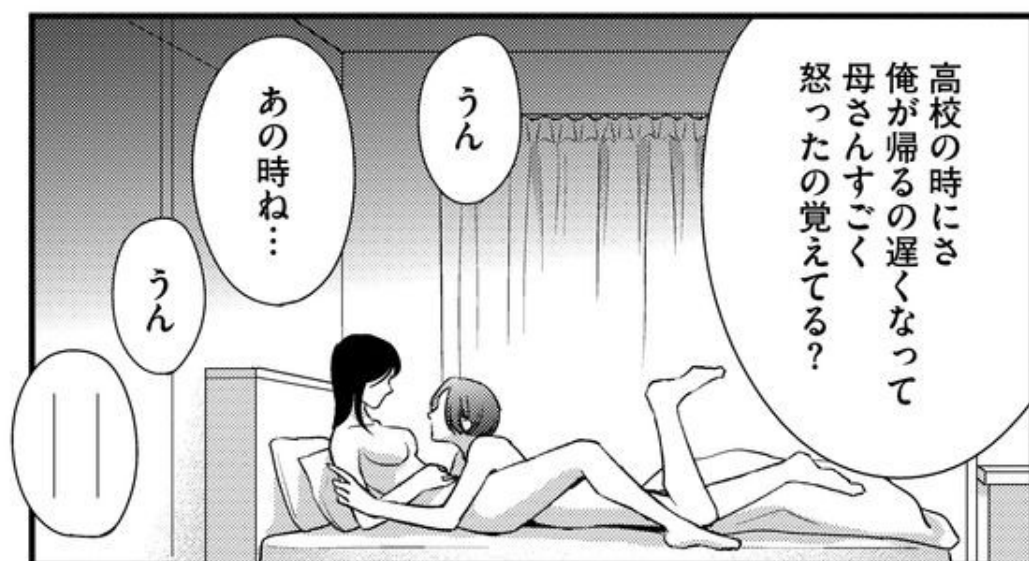
え 本当?
ごめんね



英語だけ時どき
間違ってたよ



中学の時母さんに
よく勉強教えて
もらったけど



高校の時にさ
俺が帰るの遅くなって
母さんすごく
怒ったの覚えてる?

うん

あの時ね...

うん



なのに

乱暴にして
ごめんね

あつ

はあつ



それと
あの時...

俺母さんが
戻ってきてくれて 本当に
うれしかったんだ



母さんと…

もつと
絶対消えない絆が
あればいいのにつて



おいで



もっと
家族になろう



母さん...?
それって...



...母さんっ







母さん



わかるよ
君哉くんの



ヤダ

あつ
君哉くんっ

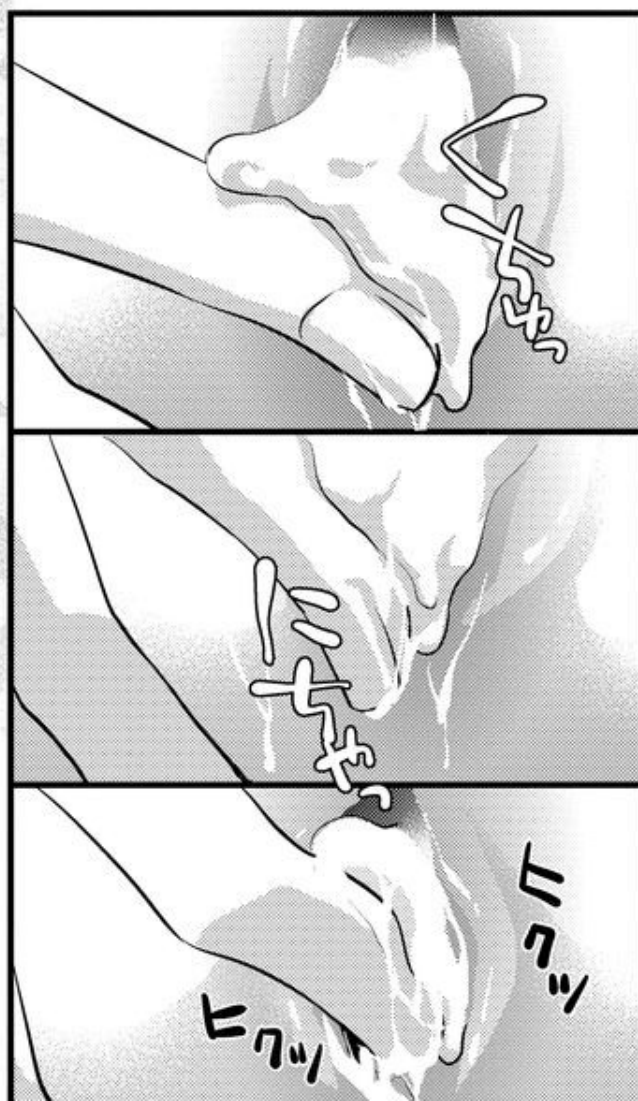
母さんが
あんなこと
言うから

出なくなるまで
やめないっ

待って
1回抜いて

変になりそうっ



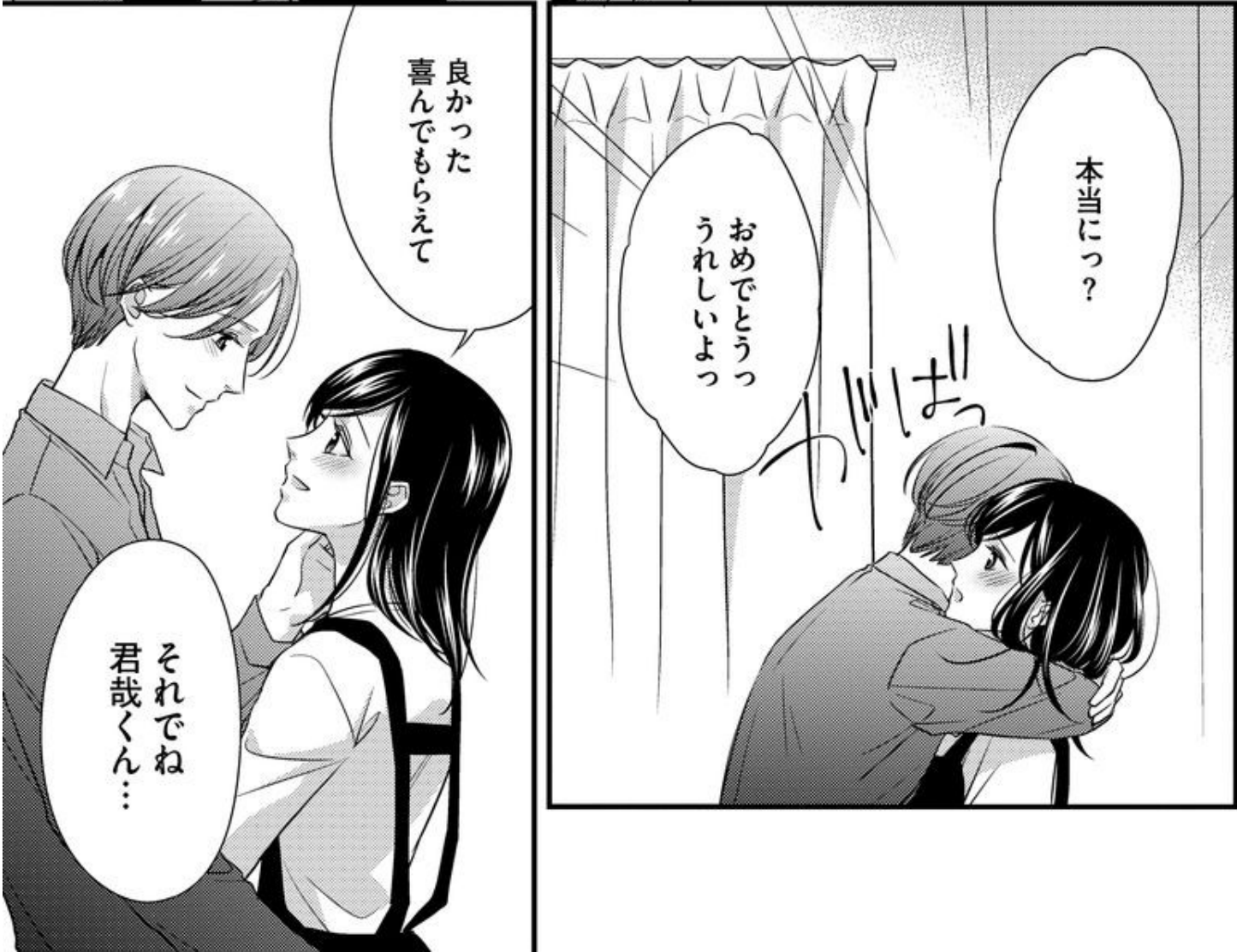




私も愛してるよ
君哉くん

大好き

愛してるよ
母さん





君哉くんは
この子の

お父さんになりたい？
お兄ちゃんになりたい？

君哉くんの好きなほう
選んでいいよ

★おわり★

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

eBOOKで
快適読書生活



<http://www.ebookjapan.jp>

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co., Ltd.
<http://www.ebookjapan.jp>
